

ある。ベトナム領事館の誘致は、空港を生かしたまちづくりに大きなインパクトとなるがどうか。

A

ベトナム領事館の誘致については、九州には、すでに福岡市に総領事館があるため、極めて厳しい状況にあると考えているが、3月末にベトナム大使に直接お会いする機会があるため、その時にチャレンジする。

市長の政治姿勢について

廣瀬 政和 議員



平成29年4月の機構改革において、事業本部制を導入することであるが、その狙いは何なのか。また、地方分権の進展や地方創生、新幹線を活かしたまちづくりなど業務が拡大する中で、専門職員の育成・確保が必要であると思うがどうか。

A

事業本部制については、組織横断的な連携の強化や、事業本部長に予算や権限を与えることで、行政課題に迅速に対応することを狙いとしている。また、専門職員の育成・確保については、多様な人材の確保や、研修等を通じて、多様化・高度化した行政二一

ズに対応できる政策形成能力の高い人材を育成する必要があると考えている。

多良の森トレイルランニングへ継続支援を！

北村 貴寿 議員



4月23日・24日に多良山系を舞台に開催される第1回多良の森トレイルランニングは、県内では大村でしかできない、大村ならではの大会である。昨年のプレ大会も好評であり、山岳連盟や地域との連携もできている。参加者400名中、370名は市外、遠くは関東からの参加もある。継続的に支援し、大村に人を集める地域資源として育てるべきである。

A

多良の森トレイルランニングに対する支援については、大会の目印となるのぼりの作成のほか、地域住民の方にお願ひし、野岳・黒木地区にエイドステーションの設置を予定している。また、シテップロモーション推進事業における取り組みの候補の1つとして、ブランディングマネージャーやNPOの方等のご意見をお聞きし、検討したい。

グラントデザインと市庁舎について

田中 秀和 議員



市庁舎建設整備基金については、3月補正で、3億円を積み立て、約15億2,000万円となった。新市庁舎で恩恵を受ける世代にも相應の負担をお願いし、基金の積立金が少なくても建設を考えていいのではないか。なるべく早く建設地を1カ所に決定する政治的判断も必要と思われる。市庁舎や市民会館の場所の決定なくして、本物のグラントデザインはできないのではないか。

A

新市庁舎の建設については、平成28年度中に市民や議会の声聞いた上で、数カ所の候補地を決定し、最終的に建設地を判断したい。また、建設地の選定にあたっては、今後大村市の核となる多極ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりを考慮し、判断しなければならないと思っている。

園田市政と前市政の当初予算編成について

小林 史政 議員



市長は、園田市政の記念すべき初めての当初予算をどのような思いで編成され、どのように評価しているのか。また、前市政と比較して、園田カラーが全面に出された特色ある予算と言えるのか。さらに、どれぐらい事業を見直し、どれぐらい財源を捻出されたのか尋ねる。

A

当初予算に対する自己評価については、前市政と同規模の予算の中、マニフェストに掲げた全27項目のうち、8割を超える23項目を盛り込み、かつ、新規事業も盛り込んだことで、自身のカラーも打ち出せたと思う評価している。また、事業の見直しの一例としては、リフォーム関連事業や高齢者ふれあいバス社会実験事業等の見直しを行っており、全体的にバランスのとれた予算編成ができた。

